



学校だより

4月号

横浜市立大道小学校

平成31年4月5日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

校長 加藤 和之

どうぞよろしくお願ひいたします

春休みに入ってから花冷えの日が続いたこともあり、校庭の桜が始業式・入学式に合わせるように満開となりました。明るいい日差しの中、新しい気持ちで新年度を迎えることができ、大変嬉しく思います。今年度も、保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、よりよい大道小を目指して学校づくりを進めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年度校長として着任いたしました、加藤和之（かとうかずゆき）と申します。前任校は鶴見区の旭小でした。小学生の頃から社会科が好きで、見学に行ったり、授業でみんなと話し合ったりするのが好きでした。体を動かすことも好きで、前任校では休み時間などに、子どもたちとよく鬼ごっこをしていました。反対に図工が苦手で、上手な友達の作品を見ていて羨ましく思ったものです。趣味は登山で、夏にはよく北アルプスなどの山に登っています。

大道小と言えば、以前から前の道路を車で通った際などに、「大道小だなあ。『トンボ池』や『歴史資料館』のある学校だな。保護者や地域とのつながりが深いのだろうな。」などと想像し、なぜか印象に残っていました。富岡在住の私が、富岡校長先生の後を引き継ぐということからも、何か「ご縁」のようなものを感じます。そして、歴史があり、皆様の思いがたくさん詰まった大道小に着任できたことを大変光栄に思うとともに、身の引き締まる思いがいたします。早く学校や地域に慣れ、皆様と手を携えながら、自分なりに頑張っていきたいと思ひます。

私は、まずもって学校は「楽しい」場所でありたいと思ひます。もちろん、ただ「楽しい」だけではありません。どの子にも、「～ができるようになりたい。」「～になるといいな。」「苦手な～を克服したい。」といった「思い」や「願ひ」があるはずです。学校は、そういった「思いや願ひが実現できる場所」でありたいと思ひます。それは小さなことでも構いません。授業の中で「分かった!」「ああ、そうか。」「できた!」と思ひすることも、小さな「実現」だと思ひます。日々の生活の中で、こういった体験を一つずつ積み重ねていくことで、学校がさらに楽しくなり、「やればできる!」という自信がついてくると思ひます。そして、それがやがて大きな「実現」や「成長」へとつながっていくはずです。学校は、そんな経験がたくさんできるよう、子どもたちにアドバイスしたり応援したり、時には厳しく指導したりする場所でありたいと思ひます。そして、子どもが何か「実現」することができた時には、私達も一緒に喜び合いたいと思ひます。

1日には、新しい元号「令和」が発表されました。新しい時代を創っていくのは、間違いなく子どもたちです。大道小の子どもたちの将来のために、教職員一同、力を合わせて頑張っていきます。重ねて、どうぞよろしくお願ひいたします。